

2010年度(平成22年度) 第115回日本解剖学会総会・学術評議員会記録

日 時：2010年(平成22年)3月29日(月)13:00~14:40

場 所：岩手県民会館 大ホール

開会の辞 岡部庶務担当理事より、事前に寄せられた書面評決状は総数1093通、うち各議案について賛成1093、反対0であり、本日の出席者144名を合わせると合計1237名で正会員総数2097名の過半数(1049名)を上廻り、定款31条に定められた定足数を超え成立し、また学術評議員会は389名のうち、既に委任状247通が届いており、出席者をあわせると定款施行細則9条に定められた定足数78名(学術評議員数の1/5)を超え、成立している旨の報告がおこなわれ、開会が宣せられた。

議長選出 岡部庶務担当理事より議長として佐藤洋一会頭を推薦したい旨、提案があり、承認された。続いて議長より副議長に野坂洋一郎副会頭、書記に齋野朝幸准教授を推薦したい旨、提案があり、承認された。

I. 議事録署名人の選任

岡部庶務担当理事より議事録署名人として、佐藤昇 新潟大学教授、玉巻伸章 熊本大学教授を推薦したい旨、提案があり承認された。

II. 理事長報告

内山理事長の挨拶が、今回の総会・全国学術集会の準備にあたった岩手医科大学医学部 佐藤会頭をはじめとする実行委員会への謝辞で始まった。次に政府の事業仕分けへの学会の対応として、生科連からの要望書を提出した事、パブリックコメントを提出した事、解剖、生理、薬理、生化の4学会から若手養成に関する要望書を提出し、後藤政務官に説明を行なった事などが紹介された。また、解剖学会の会員数の減少に対応する為に将来計画委員会を組織し答申をまとめた事が報告された。更に、様々なかたちで海外との交流が進んでいる事、出版事業や生理学会との合同シンポジウム、2011年の総会共催などを通じて他の学術団体との活発な交流が行なわれている事が報告された。一方、ホルマリン問題対策に関して、神戸大学寺島教授、産業医大の菊田教授の協力に対する謝辞が述べられた。また、外科トレーニングへの解剖体の使用に関して、学会としては関連する三委員会の委員長を派遣し対応していく事を報告して挨拶を終えた。

III. 報告事項

1. 会員報告

平成21年12月31日現在、正会員2,039名、名誉会員120名、永年会員112名、賛助会員46名、団体会員53名、海外会員15名である旨、報告がおこなわれた。

2. 物故会員

12名の物故会員の氏名が朗読され、続いて出席者全員により黙祷が捧げられた。

3. 教授就任による新学術評議員紹介

教授就任による新学術評議員10名の紹介が資料に基づきおこなわれた。

4. 各種規約の改定

1)「解剖学振興基金」に関する規程、2)日本解剖学会奨励賞規約 以上2項目の規約・規程等の改正が資料をもとに報告された。

IV. 審議事項

1. 新名誉会員の件

理事会より推薦の2名の候補者について資料をもとに審議がおこなわれ、承認された。

2. 新永年会員の件

理事会より推薦の7名の候補者について資料をもとに審議がおこなわれ、承認された。

3. 申請による学術評議員の件

理事会より推薦の8名の候補者について資料をもとに審議がおこなわれ、承認された。

4. 平成21年度事業および業務監査報告の件

①学術集会開催状況、②会議開催状況、③学会誌刊行状況、④委員会報告 1)編集委員会 2)解剖組織技術士資格審査委員会 3)解剖体委員会 4)解剖学用語委員会 5)海外交流委員会 6)教育委員会 7)情報技術委員会 8)学術委員会 9)コ・メディカル教育委員会 10)倫理委員会 11)将来計画WG ⑤研究の奨励および業績の奨励、平成21年度奨励賞受賞者(4名)、技術士功労賞

受賞者（該当なし）⑥内外学術団体との協力ならびに連絡、⑦技術士認定 2級技術士合格者（4名）以上の7項目について、各々資料をもとに説明がおこなわれ、承認された。

5. 平成21年度決算および会計監査報告の件

平成21年度決算について資料をもとに説明がおこなわれ、審議の結果、承認された。また渡邊雅彦監事による事業・会計の監査報告がおこなわれ、小出将恵公認会計士による監査報告書とともに承認された。

6. 平成22年度予算および事業計画の件

資料をもとに説明が行なわれ、審議の結果承認された。

7. 平成22年度予算執行の件

平成22年度予算執行に関し、総会開催までの1～3月分の予算執行については理事会に一任することが承認された。

8. 第118回（平成25年度）総会・全国学術集会開催担当校の件

香川大学医学部を推薦するとして理事会の提案が承認された。

9. 一般社団法人への移行の件

一般社団法人を選択する事となった経緯とその具体的手続きに関する説明があった。この中で(1)新しい定款の策定、(2)公益目的の支出計画案の策定、という2つのポイントに関して説明があり、今後HPでパブリックコメントを募りながら、年内に手続きを進める方針が説明された。また、(1)に関連して「社員」と「評議員」の関係が説明された上で、定款の改定案が提示され、承認された。

10. その他

遠山稿二郎岩手医科大学教授より、科研費を含めた事業仕分けに関してコメントがあり、内山理事長より基礎研究への重点的予算配分について関係省庁等に働きかけている旨の報告があった。

V. 第116回日本解剖学会総会・全国学術集会準備状況

標記総会・全国学術集會会頭 内山安男順天堂大学教授より準備状況の報告と挨拶があった。

閉会の辞 佐藤会頭より閉会の辞が述べられ、平成22年度（第115回）総会・学術評議員会が終了した。

上記の2010年度（平成22年度）総会・学術評議員会の議決及び確認事項を明確にするため、この議事録を作成し、議事録署名人はここに記名押印する。

2010年（平成22年） 月 日

社団法人 日本解剖学会

議長

署名人

署名人